第三講　置き字／返読文字／「也」の読み方

一　**置き字**…意味はあるがそれ自体は読まない文字。書き下し文では書かない。

①　**於・于・乎**＝前置詞の働き。

「時・場所・比較・受身・目的・起点・対象」などを表し、動詞・形容詞の後に置く。

直後の送り仮名は「ニ・ト・ヨリ（モ）・ヲ」。

（例）賢ナル**於**隗(かい)ヨリ者、…

②　**而**＝接続の働き。「順接・逆接」を表す。

文中…**読まない。直前に読む字に送り仮名**を送る。

「順接」＝テ・シテ・ニシテ・デ

（例）召シテ二蘧伯玉(きょはくぎょく)ヲ一**而**貴ブレ之ヲ。

「逆接」＝モ・ドモ・ニ

（例）蘧伯玉賢ナルモ**而**不レ用ヒラレ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

文頭…**読む**（＝置き字ではない）。

「順接」＝しかう**シテ**・しか**シテ**

（例）**而**シテ吾与トレ子之所ナリ二共ニ適スル一。

「逆接」＝しかル**ニ**・しかル**ヲ**・しか**モ**・しか**レドモ**

（例）**而**ルニ聴キテ二細説ヲ一、…

③ **矣・焉**＝**強意**の働き。**文末**にある。語気詞。

（例）我失ヘリ**矣**。

④ **兮**＝**整調**の働き。（**詩の中**でしか使わない）

（例）今遂ニ逝ケリ**兮**。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　「語夫人其実焉」の返り点の付け方とその読み方として最も適当なものを、次の中から一つ選べ。

ア　語㆓夫人其実㆒焉　　夫人と其の実を語る
イ　語㆓夫人㆒其実焉　　夫人に語ること其れ実ならんや
ウ　語㆓夫人其実㆒焉　　夫人に其の実を語る
エ　語㆓夫人㆒其実焉　　夫人に語りて其れ実ならしむ
オ　語㆓夫人㆒其実焉　　夫人に語れば其れ実なり

問二　次の白文に、返り点を付けよ。

吾已作薬酒待之矣。

注　薬酒…毒薬を入れた酒。
之（これ）…ここでは「夫」のこと。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二

返読文字…語順に関係なく**下から返ってくる**ことが決まっている文字。（左記Ａ・Ｂなど）

Ａ「助動詞」

…助動詞は文末に置く断定「也（なり）」を除いて、用言（主に動詞）の上に置かれ、その用言から返って読む。

① **不**・弗＝ず（**打消**）　② **使**・令・遣・教・俾＝**しム**（**使役**）
③ 為＝たり（断定）　④ **可**＝**べシ**（可能・当然）
⑤ **見**・被・為・所＝**る**・**らル**（**受身**）　⑥ **如**・**若**＝**ごとシ**（比況）

＊「ム・タリ（完了）・リ」などは漢字がなく、送り仮名として示す。

Ｂ「それ以外」

① 有（あリ）　② 無（なシ）　③ 勿・毋・莫（なカレ）
④ 多（おほシ）　⑤ 少（すくなシ）　⑥ 易（やすシ）
⑦ 難（かたシ）　⑧ 毎（ごとニ）　⑨ 所（ところ）
⑩ 為（ノためニ）　⑪ 所以（ゆゑん）　⑫ 不レ能（あたハず）
⑬ 雖（トいへどモ）　⑭ 自・由・従（より）
⑮ 与（と）　⑯ 与（より（ハ））

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（例）

宋人有耕田者。（そう・ひとニ）

〔宋人に　　　　　　　　　〕

傍若無人（＝勝手気ままにふるまう様子。）

〔傍らに　　　　　　　　　〕

多岐亡羊（＝学問の道が多方面になりすぎると、真理を見失うこと。）

〔　　　　　　　　　　　　〕

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　次の文は「甸人(でんじん)をして麦を献ぜしむ」と読む。これに従って、返り点と送り仮名を書きなさい。

使 甸 人 献 麦 。

注　甸人…公田の耕作を司る役人。

問四　次の文に訓点（送り仮名と返り点）を施し、記せ。

雪 珠 如 豆 打 茅 茨 。

注　雪珠(せつじゅ)…あられ、みぞれ。
茅茨(ぼうし)…かやぶきの屋根。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

三　「也」の読み方

文末＝上に**疑問・反語**を表す副詞があるかないかを確認。

① **疑問・反語**～也。＝「**や**」「**か**」と読んで「**疑問・反語**」の意味を表す。

② ~~疑問・反語~~～也。＝「**なり**」と読んで「**断定**」の意味を表す。

文中＝「**や**」と読んで「提示・強調」の意味を表す。

③ ～也、～　（読まないときもある）

④ ～也～　（ほとんど読まない）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　次の傍線部ａ・ｂの読みを、それぞれ記せ。

蓋（けだ）シ是（こ）ノ国ａ也、地険ニシテ而民多クレ知（ち）、其ノ主ハ俗主（ぞくしゅ）ｂ也。

ａ＝　　　　　ｂ＝

問六　「始貨二爾魚一約二三十銭一也。」の読み方として最も適当なものを、次の中から一つ選べ。

ア　始め爾（なんぢ）に魚を貨（う）るも三十銭に約せんや。
イ　始め爾の魚を貨るに三十銭を約せんや。
ウ　始め爾に魚を貨るに三十銭を約するなり。
エ　始め爾に魚を貨らしむるに三十銭を約するか。
オ　始め爾の魚を貨らしむるも三十銭に約するなり。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第三講

①　「語夫人其実焉」の返り点の付け方とその読み方として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　語㆓夫人其実㆒焉　　夫人と其の実を語る
イ　語㆓夫人㆒其実焉　　夫人に語ること其れ実ならんや
ウ　語㆓夫人㆒其実焉　　夫人に語れば其れ実なり
エ　語㆓夫人㆒其実焉　　夫人に語りて其れ実ならしむ
オ　語㆓夫人其実㆒焉　　夫人に其の実を語る

②　次の中から、返読文字ではないものを一つ選べ。

ア　有　　イ　無　　ウ　所　　エ　多　　オ　者

③　「且今之黍稷也、非㆑有㆘異㆓於向之黍稷㆒者㆖也。」の書き下し文として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　且（か）つ今の黍稷や、向（さき）の黍稷に異なる者有るに非ざるなり。
イ　且つ今の黍稷や、向には之（これ）の黍稷に異とする者有るに非ずや。
ウ　且つ今の之（これ）黍稷なり、向の黍稷に異なる者有るに非ずや。
エ　且つ今は之が黍稷なり、向の之の黍稷に異なる者有るに非ざるなり。
オ　且つ今は之黍稷ならんや、向は之黍稷なるに異なる者有るに非ずや。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【第三講】

二　〔宋人に**田を耕す者有り**。〕
〔傍らに**人無きがごとし**。〕
〔岐多くして羊を亡ふ。〕

〔模範解答〕

問一　ウ

問二　吾已作㆓薬酒㆒待㆑之矣。

問三　使ム㆓甸人ヲシテ献ゼ㆑麦ヲ。

問四　雪珠如ク㆑豆ノ打ツ㆓茅茨ヲ㆒。

問五　a　や　　b　なり

問六　ウ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第三講　解答解説

〔解説〕

① 動画講義中に出題した問題。「語」が動詞なので、その下の「夫人其実」は「夫人」が補語、「其実」が目的語。よって、正解はオ。

② 「有」「無」「所」「多」は返読文字である。「者」は返読文字ではない。よって、オが正解。

③ 「也」の読み方の問題。文中の「也」は「や」と読むので、ウとエは不適。文末の「也」は、上に疑問・反語の文字がないので、この場合は「なり」である。よって、正解はア。

〔解答〕

①オ　②オ　③ア

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。